



プロバスだより

第240号

2015年11月12日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2015～16年度テーマ

仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう

第 240 回例会

日 時：平成 27 年 10 月 8 日（木）12：30～14：30

場 所：八王子エルシィ

出席者：63 名 出席率 94.0%

（会員総数 69 名 欠席 4 名 休会 2 名）

会食とハッピーコイン披露

岩島副会長からハッピーコイン 22 件の披露があった。（6 ページに掲載）

開 会

東山例会副委員長の司会により、第 240 回例会の開催告知と配布資料の確認があった。

1. 挨拶 永井会長



創立 20 周年記念大会まであと 10 日に迫ってきました。当日の詳しい話がこの後ありますので、それに従って楽しむと同時に、お客様のおもてなしをして、すばらしい集いに致しましょう。

日野プロバスクラブでは、今年 5 周年を迎えられます。本日はそのご案内のために山本会長と大島幹事のお二人がこの会にお見えになっています。後ほどご挨拶をいただきたいと思います。

また、先月ご入会いただいた、新会員の有田進治さんを今日ご紹介します。新しい仲間が増えることはうれしいものです。毎回お願いしていますが、さらに多くの仲間を紹介して下さいをお願いします。

2. お客様の紹介とご挨拶

東京日野プロバスクラブ会長 山本英次様

東京日野プロバスクラブ幹事 大島芳幸様
山本英次様ご挨拶



はるばる浅川を
越え桑の都八王子
までやってきまし
た。東京日野プロ
バスクラブは、5

年前に八王子プロバスさんのご支援とお力添えにより設立されました。私達のプロバスクラブは、26 名でスタートし、現在 33 名の小さいクラブですが、八王子の半分ぐらいの規模が目標です。9 月に創立 5 周年を迎え、11 月 19 日（木曜日）に創立 5 周年記念の式典を行ないます。

八王子の皆様には成長した姿を是非見て欲しいと思っています。既に実行委員会を立ち上げ、八王子に負けないよう半年前コーラス部も誕生させました。皆様の席も設けてありますので、是非ご来場ください。会場は私どもの例会場でもあります高幡不動尊の客殿で開催します。高幡不動駅を降りまして 2～3 分です。境内の紅葉がきれいです。開式は 10 時 30 分からです。宜しくお願い致します。

3. 新会員紹介



推薦者の田中会員より有田進治新会員が紹介された。

有田さんは昭和 20 年生まれの 70 歳で、お住まいはみなみ野。

日立製作所及びグループ会社で人事労務部門を担当されました。その間総務部長、管理本部長、取締役を歴任。日立セミコンダクターアメリカ副社長等海外在住経験も豊富であり、さらにダラス日本語補習校理事長やみなみ野 5 丁目町会長等、奉仕活動歴もお持ちの活動家です。

続いてご本人からの自己紹介があった。

初めまして有田進治と申します。紹介者の田中さんから殆どご紹介頂きましたので、趣味に絞って自己紹介いたします。趣味はテニスとゴルフですが、3年前から卓球を始めました。近くに卓球場がありませんので、一念発起して家の一部を卓球場にリフォームしました。妻の同意を得ることが、最大の難関でございまして、半年ほどバトルをしまして、ようやく2年前に卓球場ができました。今や妻が一番熱心にやっております。卓球場を拠点に地域のカフェを作りたいと思っています。このことでは、夫のロマンは妻の不満であることを実感しております。

4. バースデーカード贈呈

10月生まれの9人の会員に、池田ときえ会員の手によるバースデーカードが会長より贈られた。



(左より) 矢島、戸田、立川、土井俊玄、山口、大野幸二、岡本、古川、小林時雄の各会員(敬称略)

5. 卓 話

「シニアライフを楽しむ」 小林 時雄

世界一の高齢者大国・日本

65歳以上が人口の1/4、平均寿命は女性86歳、男性が80歳。75才以上が10年後にはますます増える後期高齢者の社会を迎える中で、我々シニア族・プロバスクラブも元気で健康、まだまだ!!という存在感を発揮して、次世代を支える役割を果たしていかなければならない。

人生をリセットして、もう一花も二花も咲かせよう。高齢化社会を二つに分けると、我が国では65歳以上が高齢者、75歳が老人と区分されている。尊敬される老人であるために重要なのは、心身ともに「脳力」が高いことである。何にでも興味を持ち、行動する意識が、会話の努力が、若さを保つ秘訣で

はないだろうか。社会に参加し、常に活動にかかわり、コミュニケーションすることが大切である。スポーツでも、肉体の衰えを訓練することによって精神力・気力・体力をメンテナンスする努力をしよう。私も誕生日を迎えて79歳になった。ここにきて、私にとって初めての経験であり我が家の重大事がおこった。妻の入院である。

昨年の7月より、異なる病名で2回の手術を受け、入退院を繰り返した。幸い、手術は無事に終わり術後の経過も順調に回復した。75歳を超える年齢には思えないほどの気力で一生懸命リハビリを受ける姿には医者もびっくりしていた。先月は2年ぶりに私と共にゴルフをラウンド、周囲を驚かせたしまった。お荷物老人にはなりたくない!!身近な所に良いお手本がいたものだ。

この一連の出来事の中でもう一つの初体験があった。私自身いずれは、と覚悟はしていたのだが……初めての一人暮らしである。結果、妻の存在の大きさ、大切さを実感し、家族のいたわりと助け合いにしみじみと有難さを感じた。健康であることの大切さと有難さを痛感した次第である。

「老いと向き合う覚悟」「年齢なりに健康であろうとする覚悟」「老を友として生きてゆく覚悟」歳を重ねてくると、やはり体力の衰えを顕著に実感する。79歳、私のゴルフも今や絶不調である。妻の入院でラウンド数が激減したから……?老いた為の言い訳は絶対にしたくない。

生涯現役のために唯一の楽しみマイゴルフ、メンテナンス法を再構築し、最後までアクティブにシニアライフを楽しみたいものである。

6. 幹事報告 田中 信昭

1) 本日は東京日野プロバスクラブからお二人のお客様をお迎えした。創立5周年をお祝いすると共に今後のご発展をお祈りします。9月26日の東京光の家コンサート2015「愛のサウンドフェスティバル」のご案内を頂き感謝。皆様方の迫力ある演奏に感激すると共に、会の大成功を祝福します。

2) 毎年恒例の「いちようまつり」の支援宜しく。11月12日の野外研修のときの「通行手形」の販売。11月21日と22日の午前と午後夫々3名ずつ、合計12名の案内要員のご協力依頼。委員会毎に2名ずつ、

委員長を通じて川村副幹事まで。

3) 10月8日「今日は何の日」

1994年(21年前)の今日、日本のプロ野球史上初めてリーグ戦の勝率が同率で首位に並んだ巨人と中日が最終戦で直接対戦する優勝決定戦が行われた日(10.8決戦)。結果は6-3で巨人が勝利しリーグ優勝。日本シリーズも4-2で西武に勝ち日本一。勝利監督：長嶋茂雄。

誕生花：パセリ 花言葉：勝利

7. 20周年記念事業実行委員会報告

実行委員長 杉山 友一



10月18日に開催されるプロバスクラブ創立20周年記念事業について、杉山実行委員長より改めて今までの経緯についての報告があった。

- 1) 記念事業の計画内容が、止むを得ない事情のため変更になったことの経過説明。
- 2) 実行委員会の役割分担にそった各スタッフの準備計画と進捗状況の説明。
- 3) 的川先生の魅力あふれる講演の一端の紹介
- 4) 各地よりお見えになるお客さまに対するおもてなしをプロバス会員全員で、品格を持って行う。

事務局長 吉田 信夫

当日のプロバス会員による役割分担と行動指針を分り易く時間ごとに区切り、A4の用紙にまとめた資料の説明。会員全員で“おもてなし”の心で迎え、お見送りしよう。そして“皆で楽しい一日にしよう”との趣旨の話があった。

8. 創立20周年記念に対するお祝いの書簡

全日本プロバス協議会前幹事長

吉川 哲朗

秋本番となってまいりました。

東京八王子プロバスクラブの皆様方には益々ご健勝にてご活躍の由、お喜びを申し上げます。

平成27年10月18日には東京八王子プロバスクラブ様「創立20周年のつどい」を開催される由、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。

この20年、貴プロバスクラブ様には素晴らしい活躍をしてられました。そして素晴らしい発展を遂げてられました。

プロバスクラブの模範でございます。

1) 「生涯学習サロン」を19年にわたり続けてられました。その記録集を私は第1回から大切にしております。そして折にふれては拝見させていただいております。良い勉強をさせていただいております。

そのサロンには、当初から出席しておられる部外の方々のおられることも伺っております。

2) 近年は「宇宙の学校」を設立されました。多くの児童とその保護者の方々も参加され、益々発展しておられる由、素晴らしい限りでございます。

サークル活動として「シニア・ダンディーズ」他数々のサークル活動を会報で拝見させて頂いております。これから、更に各方面にてご活躍されますようお祈り致しております。

「創立20周年のつどい」本当におめでとうございます。

9. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 東山例会副委員長

第240回例会の会員欠席状況はつぎのとおりです。出席63名 出席率94.0% (会員総数69名 欠席4名 休会2名)

(2) 情報委員会 土井俊雄委員長

「プロバスだより239号」をお届けしました。今回の編集担当は八木会員です。今月号では、卓話と投稿2件が勉強になりました。ご一読ください。

(3) 会員委員会 馬場委員長

誠に残念ですが、高橋敏夫会員から休会届が提出され、10月1日から当面の間休会する旨の連絡がありました。

記念式典の中で永年在籍者顕彰があります。該当される方々には、本日ボックスに入れさせていただきました。ちなみに該当者数は15名です。

(4) 研修委員会 戸田委員長

11月12日(木)野外研修で鎌倉方面に参ります。現在申し込まれた方の総数が38名でございます。野外研修はこのところ参加者が減少傾向にあります。40名を割り込みますと赤字になります。是非皆様のご協力で赤字にならないようお願いします。

(5) 地域奉仕委員会 山口委員長

来年2月から始まる生涯学習サロンですが、第1週から3週までの会員による話し手の計画が纏まりました。また開講日と閉講日の特別講話につきましても決定しております。

さらに4月28日の野外サロンも川崎の循環型産業システム三栄レギュレーターと麒麟横浜ビバレッジを下見した結果、ここに決定しました。(第20回生涯学習サロン「カリキュラムと日程」)をご覧ください。

(6) 交流担当 浅川理事

10月18日に東京八王子プロバスクラブ創立20周年記念式典がございます。北は北海道、南は沖縄までの関係者がお集まりになります。皆様の温かいおもてなしをお願いします。

また11月21日には全日本ブロック協議会の理事会が横浜で行われます。

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山リーダー

宇宙の学校につきましては、先月報告を省略しましたが、9月は6日(教育センター)、26日(北高校)、27日(東京工科大学)で開催し、いずれも計画の90%を超える参加があり盛況でした。今月は4日に本部会場、24日に北高校で実施されます。

10. 同好会活動報告

ゴルフ：小林会員

30日に3地区合同コンペを行ないます。場所は相武カントリー。6組24名の参加ですが、八王子プロバスクラブからの参加は10名です。

写真：矢島会員

11月10日(火)撮影会(紅葉の富士五湖巡り)を行います。クラブ員以外でも参加できます。

カラオケ：杉山会員

今月は20周年記念事業のため中止します。来月は予定通り実施します。

11. その他

佐々木研吾会員

いちょう祭りについて二つお願いがあります。

今年は11月21日(土)・22日(日)の2日間行われます。例年お願いしていますが、C会場・陵南公園の真ん中にあります案内所の担当です。両日とも午前3名、

午後3名、延べ12名のお手伝いをお願い致します。

もう一つは追分から裏高尾の関所までの通行手形で、一枚500円で頒布します。11月例会のバスの中で購入をお願い致します。

12. プロバス賛歌斉唱

13. 閉会の挨拶 岩島 副会長

今月は当プロバスクラブ創立20周年の記念式典をはじめ宇宙展の開催を控えています。成功させるため皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

八王子「宇宙の学校」報告

情報担当 有泉 裕子

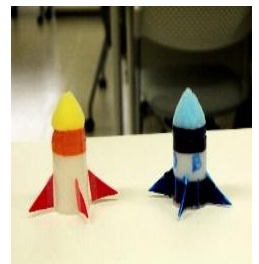
宇宙の学校第2日は、夏休み前の7月12日(日)に工科大学場で、夏休み明けの9月6日(日)に教育センター会場で、9月26日(土)には八王子北高校会場でそれぞれ開催されました。

どの会場もスクーリングテーマは「熱気球を作って打ちあげよう」と「フィルムケースロケットを飛ばそう」でした。

フィルムロケットは昔のフィルムケースを利用したかわいいロケットで発泡入浴剤に水を加えて発生するガスを推進力に利用した簡単なものです。発射するとき、ポンと大きな音がして勢よく飛び上がるので、どの会場でも子供たちはびっくりしていました。

教育センター会場では、下田会員の司会で、KU-MA 山

下法昭先生によるロケットの原理や人間の空への憧れや歴史についての話の後、スクーリングに入りました。この日は尼崎プロバスクラブの永勝龍子様が





視察にお見えになりました。
また北高校会場には八王子教育委員会広報部の方が

取材にみえました。

プロバスクラブ創立 20 周年記念式典（速報）

10 月 18 日快晴に恵まれた中で、東京八王子プロバスクラブ創立 20 周年記念式典が举行された。

午前9時にJR八王子駅南口のサザンスカイタワー4階の八王子市庁舎分館にプロバスクラブの担当スタッフが集合し、「輝く八王子宇宙展」が永井会長の挨拶でスタートした。



この会場では「輝く宇宙八王子展」が開かれ、初日は一般の市民の方々に、午前 10 時

から 12 時まで開放され、親子連れが熱心に見学をしていた。JAXA より借用した宇宙服・ロケット・こうのとり・小惑星探査機「はやぶさ」の模型などに興味を持った子供たちのきらきらした目が印象的であった。

宇宙食の展示コーナーでは、「ラーメン」や「味噌さば」などに驚きの声があり“どうやって食べるの”と子供たちは興味津々の様子であった。

ちなみこの事業は八王子「宇宙の学校」開校 5 周年を記念して企画されたものである。

一方、記念講演会、記念式典は会場を京王プラザホテルに移して行なわれた。

記念講演会は午後 4 時から、JAXA 名誉教授的川泰宣先生に「この国とこの星の私たち」のテーマでご講演を頂いた。



午後 5 時から始まった記念式典では、大野聖二初代・第 10 代会長からの開会のことば、プロバス会員による「プ



ロバス賛歌」の斉唱、永井昌平会長からの挨拶があり、ご来賓として、石森孝志八王子市長・水野功国際ロータリー第 2750 地区ガバナー・中村實全日本プロバス協議会会長からの丁寧なご挨拶を頂いた。



引き続き、記念事業によるチャリティ「中学生宇宙文庫」が、いわき市立豊間中学校高濱俊彦校長に贈呈された。

杉山友一 20 周年実行委員会委員長からは、物故者への黙祷、ご来賓の方々への謝辞とともに、「東京八王子プロバスクラブ 20 年の歩み」が創立会員にも触れながら紹介された。

記念式典の締めくくりとして、永年在籍者顕彰が行われ、顕彰者 15 名の紹介と代表者への花束が永井会長から贈呈された。

午後 6 時から開かれた「レセプション・パーティー」では、坂倉仁八王子教育委員会教育長・井村廣巳国際ロータリー第 2750 地区多摩南分区ガバナー補佐のお二方のご祝辞を頂いた。

ミニコンサートでは“魅惑の歌声で乾杯を”の迫力ある美声に酔い、和やかな懇談が続けられた。

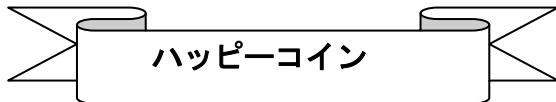
談笑の時を惜しみつつ、土井俊玄 20 周年実行委員



会副会長の閉会の言葉でお開きとなり、エンディングとして、シニア・ダンディーズによる合唱「プロバス賛歌」が披露され、記念式典、レセプション・パーティーは大いに盛り上がった。

来賓の方々、遠来のお客様のお見送りでは、再会を約しての別れの挨拶が交わされていた。

(本稿はプロバスだよりの記録・資料性を考え、記念事業の概要を掲載した。詳細の事業報告については「創立 20 周年事業報告」によるものとする。)



◆新入会員有田進治様をご紹介出来ることになりました。皆様宜しく申し上げます。 田中 信昭

◆今年もお陰様をもちまして素晴らしい池田会員からのバースデーカードを受け取る事が出来、皆様に感謝申し上げこれからも元気で頑張っていきますのでよろしく。 岡本 宝蔵

◆“秋晴れや感謝ばかりの誕生日”健康に、仲間に、家族に全て感謝！！ 立川富美代

◆やっと体調が戻って来ました。健康のありがたさを痛感しています。今後もよろしく願い申し上げます。 石田 雅巳

◆寒くなります。皆様お身体に気をつけて。 荒 正勝

◆長女の息子が教員試験に合格した。 目出度し目出度し。 濱野 幸雄

◆80 歳の自動車免許更新でゴールド免許を頂きました。ハッピー 杉山 友一

◆色と香りに魅せられて頂く一椀の花茶、末でも広がる願いを込めて (八十年もどうやら生きて感謝の念で一杯です) 古川 純香

◆小学校卒業 60 年。今月小学校の同窓会。今から楽しみです。 野口 浩平

◆27 年度の多摩西人権啓発活動として 11 月 29 日にいちょうホールで「ダウン症の娘と生きて」の講演と書のパフォーマンスがあります。是非お出かけください。 廣瀬 智子

◆5 年ぶりに例会の司会をさせて頂くことになりました。今回は 240 回という記念すべきときに当たり光栄に存じております。 東山 榮

◆20 年よかったネ。100 年め、プロバスの旗まぶし

いだろうナ。

浅川 文夫

◆創立 20 周年記念おめでとうございます。私も入会 14 年目を迎えます。時の過ぎゆくままに！！

武田洋一郎

◆10 月 18 日 20 周年式典、ご参加ご協力の程宜しくお願い致します。 杉山 友一

◆クラブ創立 20 周年有難うございます。私は、5 周年の会員増強キャンペーンに応じて入会し、15 年が過ぎました。今度の式典で永年在籍者として表彰して頂くこととなり感謝しております。さて 25 周年にはどうなっているのでしょうか。 佐々木研吾

◆ラグビー・ワールドカップ日本がまさかの 2 勝、夢のようです。 永井 昌平

◆ラグビーワールドカップ史上初の 2 勝、2020 年東京オリンピックでは野球など 5 種目が追加されそうである。スポーツ観戦が益々楽しくなりそうだ！

岩島 寛

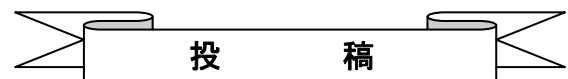
◆大村智先生ノーベル医学・生理学賞の受賞を我が事のようにうれしく思っています。先生とは年 2~3 回お食事を一緒にしていますので！！ハッピーハッピーです。 飯田富美子

◆連日のノーベル賞受賞のニュース大変喜ばしいこととお祝い申し上げます。中でも同県出身者大村さんの受賞はうれしく思います。 有泉 裕子

◆ノーベル賞、ラグビー 2 勝大変うれしい。 土井 俊玄

◆ノーベル賞、日本人 2 名万歳。「宇宙の学校」のこども達の中から将来受賞者が出るといいな！を願って。 下山 邦夫

◆ノーベル医学・生理学賞、ノーベル物理学賞を日本人が受賞した。災害や不安のつる昨今、心温まる喜ばしいニュースである。 岩島 寛



下 戸の
薬知らず 上戸の毒知らず

久野 久夫

言わずと知れた酒に纏わる箴言である。曰く「下戸 (酒の飲めない人) は適量の酒が薬になる」ということを知らず。一方、「上戸 (酒を沢山飲む人) は大酒が体にとって毒である」ことが分らないと戒めている。

という訳で毒にも薬にもなる酒のうち、我が愛する純米吟醸酒について。因みに純米吟醸酒はワイン、紹興酒と並び世界の三大美酒のひとつとも言われている。純米吟醸の純米とは、水以外には米と米麴のみを原料としているという意味。また、吟醸酒とは精米歩合 60%以下（玄米表層を 40%削り取ったということ）で低温でゆっくり発酵させるなど特別に吟味・醸造した酒をいう。

そして、これらの酒は原料の良し悪しで酒質の大部分が決まってしまうワインなどとは違い、麴や醪^{もろみ}操作という“つくり”が重要性を占めている。こうして大事・大切に造られた酒であるが、飲み方ひとつで良い酒となり、飲み手をして楽しくもさせる一方で、泣いたり喚いたり絡んだり、果ては人をして酒乱とさせる。世に言う高価、上等な酒は数多くあれどこれも飲み手次第では……。とどのつまりは、良い酒というものは飲み手、飲み方次第となる。この辺りを踏まえて百薬の長に感謝しつつ今夜も一献。

“酒は賢者をして賢を益さしむることは無かるべきも、愚人をして愚を益さしむるに足るものなり”

幸田露伴 「酒」

“小人罪なし。杯を抱いて罪あり。且つその咎は酒にあらず。飲む者の賢愚にあり。”

滝沢馬琴 「夢想兵衛胡蝶物語」

庭いじりの知恵

荻島 靖久

庭いじりの好きな人で、ふだん気に掛ける人、掛けない人に関係なく、私が以前、市の公園課で現場監督をしていた頃、造園業者のおやじさんや研修で知ったこと、又本で知り得たことを思い出しながら、庭に植えて良い樹木、植えて良くない樹木、それに昔話を入れて、役に立つ樹木などを書いてみた。

「忌み木と縁起の木」について

イチジクは無花果で家が滅びる。ツバキは首から落ちるので駄目。フジはそり下がるので好ましくない。サルスベリはすべるので縁起が悪い。ザクロは鬼子母神の木でこわい感じが……数え上げたらきりが無い程。木には色々の縁起、逸話があり、その昔は忌み木などといって、庭に植えるのをためらったこともあったが、今はこんなこと言い出す人はいない。好きな木を植えたらいい。

逆にナンテンは、難を転ずる木。サカキは栄える木と言って縁起のいい木とされている。これも語呂合わせのようで、他愛ないが、良いと言われるほうは、むげに否定することもない。

「人を安心させる樹木と癒す樹木」

イチヨウは最高の防火樹である。言い伝えによると関東大震災の折、東京・浅草の観音様が焼けずに残ったのは、まわりのイチヨウの木が水を吹いたからだといわれ、伝説になっている。

昨今のように隣家と隣家が軒を連ねて建っている状況の中では、火を防ぐ木の役目は大きい。イチヨウは防火樹の中でも、天下一品といわれている。もっともっと利用したい木のひとつで、防火樹の役目の上から高くして欲しいので、あまり狭い場所には植えられない。イチヨウのほかに防火の木として、シイノキ、カシ類、ネズミモチなどがある。

「つくばいの脇にウメ」

ウメは古くから知られていることらしく、その昔は水を使うつくばいの脇に植えたりした。雨が降って、ウメの実や葉を通して、消毒された水がつくばいに落ちる。つまり、衛生的というわけだ。

今どき、こんな非科学的なことを信じている人はいない。江戸時代、はやり病をウメで救われた人が考えついたことだろう。

「クチナシは夜の花」

クチナシの花は夜露が下りる頃、湿気が多くなると非常によく匂う。そんなところから、夜匂ってうれしいところに植えておくのが、クチナシの植える場所のポイントになる。昔この木を便所の近くに植えたのは、一つには臭い隠しの意味もあった。それと玄関前なども御帰館の遅いご主人を、香り高く迎えるにはうってつけである。

私とゴルフ

寺田 昌章

私がゴルフを始めたきっかけは、内視鏡の開発本部長であった52歳の時である。内視鏡のある手技(系内視鏡的十二指腸乳頭切開術)つまり胆道にできた胆石を内視鏡で取り出す為に乳頭を切開する手技が確立して25年になった事を記念して、世界中のこの手技に関連した著名な内視鏡医を集めて、米国ウイスコンシン州のミシガン湖近くのブラックウルフランと云うゴルフ場

(ここはUSPGA、USLPGAが開催されている著名な所)の会議室とホテルを借り切って、講演とパーティーが行われた。

会議は午前中で午後はフリーであった。日本からは川井啓一先生(故人)と営業部長(元ゴルフ部)の3人であった。川井先生から寺田君は何をするのかと聞かれ、何もない所なので(奥様達は KOHLER<コーラ>社のトイレタリー製品の工場見学をするとの事でしたが、興味がなかった)本でも読むつもりですと答えたところ、折角こんな良いゴルフ場に来ているだからゴルフでも付き合えよといわれ、カートを運転するつもりで(但し貸クラブを持たされ)ゴルフコースに出てみたら、何とも静寂で絵に描いたような美しい林間コースに驚かされた。この空間を独り占めしているような気分が大いに感動した。練習もなく、いきなりボールを打たされた。スコアは当然散々なものであったが、ゴルフ場そのものに魅せられた。2日間の会議、ゴルフ、夜のブラックタイを付けたパーティーは大変印象的であった。

帰国後早速営業部長に載せられてゴルフ5でゴルフ道具一式を買わされる事になった。営業部長にすれば、当時内視鏡分野の上司の中でゴルフをやる人が少なかったのも、理解を示してくれる強い味方を作りたいだったのであろう。

ゴルフを始めてから米国へ行く度に本当に素晴らしいゴルフコースを用意してくれて、ゴルフを始めて1年間(延べ20回位)は日本でのプレー経験はなかった。TVで米国のゴルフ中継があると、このコースに行ったことがあるという偶然が何回かあった。

ゴルフを始めて何より良かったことは、かなりの先生方がゴルフをされており、昼間の半日間一緒に過ごすことが出来、色々な会話の中で貴重な情報を貰ったり、仕事の打診をしたりするお付き合いが出来た。しかも夜のお付き合いよりも極めて安く済むという特典もあった。

多分ゴルフの下手な寺田がいるので先生方も気をよくされた事だろう。ゴルフを始めて3年目、フロリダ・オーランドのグランドサイプレス(4つのゴルフ場がある著名な所)で3日間の会議(毎年世界のVIP内視鏡医が集まる)の2日目で初めて100を切ったと報告したところ、早速先生方がお祝いのパーティーを開いてくれた。

残念なことはそれ以降一向にゴルフが上達していない事です。それでも仲間が増え、楽しければそれでよいと思っています。

俳句同好会便り

私の一句〜10月の句会から

河合 和郎

今年も残り二ヶ月を切った。時の流れの速さに愕然。そんな日々の一コマをせめて十七文字に。

暮の秋終のひと声鉦叩

山形 忠顯

秋も深まり、元気に鳴いていた鉦叩も最後の一声を。秋の哀れさを虫の音に込めて詠う。

大粒の秋を味はう渋皮煮

池田ときえ

「大粒の秋」の措辞が秀逸。秋の風情をうまく詠んでいる。視覚と味覚の相乗効果が効いている。

夕照の風の足跡稲穂波

田中 信昭

夕日の輝く実りの秋がうまく詠めた。瑞穂の国には稲穂が揺れる田園風景がよく似合う。

千畳敷紅葉を割りて沢三筋

飯田富美子

広い谷川の岩畳一面に紅葉が散り敷かれている。その中に光る沢の流れが三筋。中七がうまい。

秋風に一枚羽織りバスに乗る

立川富美代

日常の一コマをさらりと詠う。季節の変わり目を捉えた中七の「一枚羽織り」の措辞がいい。

家々の灯が語りだす秋の暮

馬場 征彦

家々の団欒の様子をうまく捉えた。「灯が語りだす」が言い得て妙。明りの数だけ幸せな家族がある。

「罪と罰」再読をする夜長かな

渋谷 文雄

ロシアの文豪の長編小説を再読する。その心の若さといつまでも衰えない気力に敬服あるのみ。

栗飯や竜見やる母ありき

東山 榮

作者の優しい心根が偲ばれる一句。幼き頃の母への思慕の念が切なく伝わって来る。佳句。

いわし雲憂きこと腹に収めけり

石田 文彦

高く澄んだ青空に鰯雲が流れている。自然は人の世の憂きことも悩みも雲散霧消してくれる。

明かり消し月を灯せる苫屋かな

河合 和郎

部屋の明りを消すと月明かりは思いのほか明るい。スーパームーンをじっくり鑑賞した秋であった。

編集後記

素晴らしいプロバスクラブ 20 周年記念式典が盛会裡に終了し、誠に喜ばしい次第です。

プロバスクラブの更なる発展を祈願します。

情報委員会・土井俊雄